

健康社会研究センター ニューズレター 第2号

2010.06.07 発行

発信元：健康社会研究センター <http://cws.umin.jp/>

◆ 目次 ◆

- 1 最近のプレスリリース
 - 2 ホームページを更新しました（研究成果掲載）
 - 3 社会疫学・健康格差に関連するシンポジウム・セミナーのお知らせ
-

1 最近のプレスリリース


◆10 大学・研究所で「介護保険の総合的政策評価ベンチマーク・システム」を開発—介護予防政策の効果の検証，ケアの質評価に向けて—

「介護保険の総合的政策評価ベンチマーク・システムの開発」（主任研究者 近藤克則，H22-長寿-指定-008）が，平成22年度厚生労働科学研究費補助金（長寿科学総合研究事業）の指定研究として採択されました。この研究計画は，介護保険の総合的な政策評価ベンチマーク・システムの開発をめざし，平成22（2010）年～24（2012）年度までの3年間は，「保険者（自治体）による介護予防」と「ケアの質評価」の2つのベンチマーク・システムの開発に取り組みます。

《詳細はこちら》

<http://square.umin.ac.jp/ages/press-releases/10-001.pdf>

2 ホームページを更新しました <健康社会研究センター <http://cws.umin.jp/>>

- 1) 2010年4月30日
平成22年度厚生労働科学研究費補助金（長寿科学総合研究事業）の指定研究として「介護保険の総合的政策評価ベンチマーク・システムの開発」（H22-長寿-指定-008） [\[Adobe PDF ファイル\]](#)が採択されました。
- 2) 2010年5月17日
国際シンポジウム「Health Impact Assessment（健康インパクト評価，HIA）の可能性と課題—健康格差是正に向けて」の[イベント報告](#)を掲載しました。
- 3) 2010年5月2日
米国疾患管理予防センターの健康格差のページ等を[リンク](#)に掲載しました。
- 4) 主な研究成果

◆ 図書

近藤克則『「健康格差社会」を生き抜く』朝日新書，2010。

◆ 論文

- ① Chiyo Murata, Tetsuji Yamada, et al.: "Barriers to Health Care among the Elderly in Japan." International Journal of Environmental Research and Public Health 7(4):1330-1341, 2010.
- ② 近藤克則：「特集 ヘルシー・シティ，ヘルシー・コミュニティ[総論]健康の社会的決定要因と社会疫学」，JIM20（5）：340-343，2010.
- ③ 埴淵知哉・近藤克則・他：「『健康な町』の条件-場所に注目した健康行動と社会関係資本の分析」，行動計量学 印刷中，2010.
- ④ 近藤克則・平井寛・竹田徳則・市田行信・相田潤：「ソーシャル・キャピタルと健康」行動計量学 印刷中，2010.
- ⑤ 田中剛・近藤克則：「自殺における社会経済要因とその対策」，公衆衛生 74(1)：78-85，2010.
- ⑥ 本橋豊・近藤克則：「対談 社会的排除と自殺」，公衆衛生 74（5），2010.5.
- ⑦ 近藤克則：「健康の社会的決定要因（1）『健康の社会的決定要因』と健康格差を巡る動向」，日本公衆衛生雑誌 57（4），2010.4.

◆ 学会発表

- ① Katsunori Kondo: Social capital and well-being – Policy for healthy aging. The 5th International Conference on Social Security – Social Security: From the Past to the Future. Beijing, China, 2009.9.12-13 Collected Papers for the Sessions of Asian-European Dialogue and Youth Round-table pp164-172
- ② Katsunori Kondo, Hiroshi Hirai, et al: Survival impacts of socioeconomic status and negative life events: A prospective cohort study in Japan (AGES project). The Joint Scientific Meeting of IEA Western Pacific Region and Japan Epidemiological Association, Saitama Prefectural University, 2010.1.9-10.
- ③ Katsunori Kondo, Yukinobu Ichida: An Intervention Study on Social Capital in Taketoyo town – AGES Project. Social Capital and Health: Cross-National Comparative Perspectives, Harvard Center for Population and Development Studies, Cambridge, USA, MA, 2009.6.19-20.
- ④ Kondo.K, Hirai.H et al: An intervention trial tackling inequality in social participation and functional decline among older people. The 18th International Conference on Health Promoting Hospitals and Health Services. Manchester, UK, 2010.4.16.

◆ その他

近藤克則 (AGES 研究結果掲載): 「医療費 3 割負担が生む受診格差」, 医薬経済 4 (1), 2010.

3 社会疫学・健康格差に関連するシンポジウム・セミナーのお知らせ

◆ 公衆衛生セミナー：日本における健康の社会決定要因 (The Osaka public health symposium: social determinants of health in Japan) 開催

(大阪大学大学院医学系研究科「医科学修士健康医療問題解決能力の涵養教育プログラム」と University London College Department of Epidemiology and Public Health との共催セミナー)

【日時】2010年7月20日(火)～22日(木)

【場所】大阪大学吹田キャンパス [銀杏会館](#)

ニューズレター第2号の発行にご協力いただきましてありがとうございました。

今後とも当センターへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

メーリングリストの配信の停止をご希望の方・ご意見・お問い合わせはこちら <k-manami@n-fukushi.ac.jp>までお知らせください。

発信元：健康社会研究センター <http://cws.umin.jp/>

(このメールは、国際シンポジウム「健康の社会的決定要因－社会疫学の可能性」(2009年3月14日開催)にてメール登録をご希望いただいた方及びメーリングリスト web 登録をいただいた方に配信しています)